

2025 ～ 2026 年度国際ロータリーのテーマ

U N I T E F O R G O O D

●会長 堤 勝也
●幹事 草村安宏

 No.1906 令和 07 年 07 月 09 日 第 02 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


よいことの
ために
手を取りあおう

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング

「奉仕の理想」

(ソングリーダー 彌富照皇)



■来訪者紹介

(会長 堤勝也)

(米山奨学生 魏芸婷さん)



■7月米山奨学金の授与

(会長 堤勝也)

(米山奨学生 魏芸婷さん)



■会員の時間

(会長 堤 勝也)

皆さん、こんにちは。本年度のクラブテーマは「つながりを深め、未来に繋ぐロータリー」です。



今年は特に「会員の増加と維持」、そして「姉妹クラブとの交流強化」の2点に力を入れていきます。

まず会員については、若い世代や多様な職業の方々へのアプローチを強化し、仲間を増やすこと。そして例会や奉仕活動を魅力的にし、会員同士のつながりを深めていきたいと思っています。新しく入った方へのフォローも、メンター制度などで充実させる予定です。

また、姉妹クラブとの交流も積極的に進めます。台湾での国際大会や、板橋南區扶輪社との調印式、和歌山東南 RC や宇佐 RC の周年事業など、交流の機会を大切にし、国際的な視野も広がっていきます。

楽しく、そして少し激しく (笑)、今年も元気に活動していきましょう。

■幹事報告

(幹事 草村 安宏)

■来信案内

特にございません



■クラブより

1)

第1回定例理事会報告。

1. 2025-2026 年度会費請求について

【承認】※熊本東南 RC 記念事業準備金については検討する。

2. 退会者の件。

【承認】(山坂哲生氏、2025 年 6 月 18 日付)

3. 例会終了後、定期的に委員会を開催する。

【承認】

■今後の地区行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2025 年 7 月 13 日 (日)	第 1 回 RA 地区連絡協議会およびインターシティミーティング	大分県 大分市	コンパルホール	
7 月 19 日 (土) 7 月 20 日 (日)	2025 学年度 米山夏季セミナー	大分県 日田市	羽田多目的交流館	生駒ちあき 宮川義行 魏芸婷
7 月 26 日 (土)	2025-2026 年度 規定審議会報告会・クラブ活性化ワークショップ	大分県 大分市	ホルトホール大分	草村安宏 内田信行 彌富照皇 中島祐爾
8 月 23 日 (土)	第 1 回ファシリテーター 研修セミナー	熊本県 熊本市	未定	彌富照皇
9 月 20 日 (土)	大分 Oli Oli ロータリークラブ 認証状伝達式並びに祝賀会	大分県 大分市	レンブラントホテル	彌富照皇

■ロータリー情報

(ロータリー情報担当委員長 松本繁)

本年度も引き続きロータリー情報担当委員長を務めさせていただくことになりました。潮谷会員・鈴木会員・白木会員とともに、4 名体制で輪番にてお届けしてまいります。



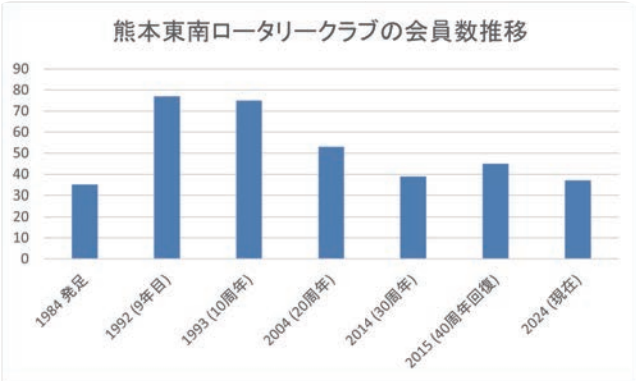
先週の本年度第 1 回例会にて、埴会長よりスローガン「つながりを深め、未来に繋ぐロータリー」のもと、今年度の運営方針が語られました。特に「会員増強」と「既存会員の満足度向上」に重点を置き、37 名でのスタートからぜひ 40 名への回復を目指したいとのことです。活気ある、楽しく元気なクラブとしてさらに発展

するためにも、全会員で力を合わせて取り組んでまいりましょう。

また、当クラブの歴代会員数の推移を簡単に振り返りました。1984年の発足時は35名、9年目にはピークの77名、10周年時75名と増加しましたが、その後は減少傾向となり、30周年時には39名に。危機感の中で増強を図り、40周年時には45名まで回復したものの、現在は再び37名となっています。

これまでに234名が入会し、現在37名が在籍。その中でも、チャーターメンバーの鈴木・沼田両会員、そして発足3か月後から在籍されている潮谷会員のご貢献には、心より敬意を表したいと思います。

現在は中堅・若手を中心となり、元気で活気あふれる良いクラブです。皆様どうぞ自信を持って、今年度の会員増強に取り組んでまいりましょう。



委員会報告①

(姉妹クラブ担当委員長 緒方公一)
和歌山東南 RC 来熊の件
(創立 55 周年記念式典の案内)
来熊日程：10 月 8 日（水）・9 日（日）
10 月 8 日（水）例会を夜に変更して開催、
10 月 9 日（木）ゴルフ・観光の予定。



委員会報告②

(社会奉仕担当委員長 宮川義行)
・7 月 19 日（土）～ 20 日（日）
米山夏期セミナーの件
・アクト例会参加報告



委員会報告③

(国際奉仕担当委員長 小畑成司)
2026 年国際大会（台北）について
・7 月中に参加希望について
(3 泊 4 日または 2 泊 3 日) のアンケート
を取ります。



出席報告

(出席・プログラム担当委員長 渡邊俊一郎)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
6 月 25 日	休会	-	-	-	-
7 月 09 日	37 (免 2) 35	30 (ZOOM3)	-	-	85.71

☆出席免除
7 月 9 日
島村徹男 志賀重人

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員
生駒ちあき)



◎片岡貞志 10,000 円
7/7（月）人生で初めて患者として救急車に乗りました。結果的に元気です。ハチに刺されないようみな様ご注意ください！



◎西田智史 5,000 円
今年度、S A A を務めさせていただきます。不慣れでお聞き苦しいと思いますがあたたかい気持ちで聞いていただければありがたいです。一年間よろしくお願いいたします。
本日はみな様、色々ご教示いただきありがとうございました。



◎宮川義行 5,000 円
短かった梅雨も終わり、連日の猛暑。しかし、建築現場も休むわけにはいきません。工夫を凝らして乗り越えていくことになります。昨夜は、今年度最初のアクトの例会に 13 名参加、奉仕活動を中心に、今年度も会員増強に力を入れていくことになりました。
ロータリーとのつながりも深めていきたいと思っていますので、今年度も宜しくお願いいたします。
1 年間お世話になります。



■卓話・新年度方針発表（クラブ管理運営委員会）

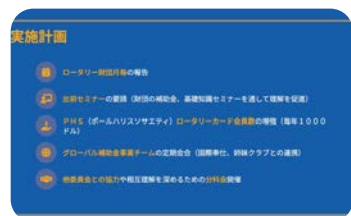
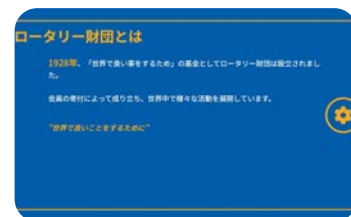
◆彌富 照皇 委員長





⑤ロータリー財団委員会

(ロータリー財団委員会 武末直大 委員長)



点鐘

(編集者 武末直大)

◆世界最大規模のスポ GOMI 大会を福島で開催

ごみ拾いと競技を組み合わせた日本発祥のスポーツ「スポ GOMI」

寄稿者：五阿弥 宏安 (福島ロータリークラブ会員)

「スポ GOMI」って知っていますか？ごみ拾いをスポーツとして楽しみながら、環境問題についても理解を深めてもらおうという、日本発祥の新しいイベントです。「ごみ拾いがスポーツ？」と驚く人も多いでしょうが、ちゃんとしたルールもあり、今では日本各地で大会が行われ、昨年には「ワールドカップ」まで開かれるようになりました。

このイベントに着目したのが、わが福島ロータリークラブ (会員 103 人) です。実は福島県では、県民一人当たりのごみ排出量が全国ワースト 3 位以内という不名誉な記録が続いています。ごみを少しでも減らすとともに、ごみを捨てない意識を市民に持ってもらうと、2021 年から毎年、「スポ GOMI 大会 in ふくしま」を

開いてきました。



今年も 9 月 28 日に福島市内で第 4 回大会を実施しました。回を追うごとに参加者が増え、今回は参加 93 チーム、410 人とスポ GOMI 大会としては世界最大規模となりました。競技ルールをつかった団体からは「参加者数が世界一」とお墨付きをもらいました。それだけ市民の関心が高まっているということで、私たちも大変うれしく思った次第です。

「ごみ拾いはスポーツだ！」の掛け声とともに

1 チームは 3 ～ 5 名で構成され、ロータリー会員やロータリーアクター、インターアクターをはじめ、家族連れや会社の同僚、学校の仲間など幅広い人たちが参加してくれました。小さな子供からお年寄りまで気軽に参加できるのが「スポ GOMI」の魅力でしょう。

雨も心配されましたが、当日は曇天で暑くもなく寒くもなく、絶好の“ごみ拾い日和”となりました。午前 10 時、「ごみ拾いはスポーツだ！」の掛け声で競技がスタート。制限時間は 50 分で、市内中心部の 1.3 キロ以内のエリアが対象です。チームのメンバー同士は 10 メートル以内の距離を保つこと、走らないことなど「スポ GOMI」のルールを守りながら、ごみを拾っていきます。若者のチームからは「ごみがお宝に見えます」との声も。ゲーム感覚をくすぐるのでしょうか。みんな真剣な表情でごみ拾いに汗をかいていました。



街のごみを拾うことで海もきれいに

今、プラスチックの海洋ごみの問題が世界的に深刻になっています。2050 年には魚より海洋ごみの量が多くなると懸念されていますが、実は海洋ごみの 7 ～ 8 割は街から発生しています。街のごみは雨が降ると水路などに流れ、それが川へ向かい、そして海へと至ります。海洋ごみの話は私たちの身近な問題でもあるのです。

私たちの子どもや孫の世代に美しい自然を残していくためにも、ごみの排出が少なく、ごみを捨てない循環型社会に変えていくことが大切です。一人一人の意識や行動が問われますが、「スポ GOMI」の取り組みはその一歩でしょう。しかもロータリーを知らない人たちにも呼びかけ、一緒に行動できるところが素晴らしいですね。これからもこの取り組みを続け、参加者の輪をさらに広げていきたいと思ひます。

みなさんの地域でも「スポ GOMI」にチャレンジしてみませんか？